

彼等ハ就業スルニ急業氣分ニテ製造能率更ニ守リ
ス會社側又之ニ対スル威令行ハレサル状況ナリ
然レニ吾月三十日ハ貸金ノ定期支拂日ナルニ拘リ
ス支拂ノ遅延ナキニ以テ後藤惣次郎外二
名ヲ代表トシ社長中島精一ニ前会ヲ於ケタルニ今
人不在ナリト稱シ社員加藤俊雄面会セリ以テ給
料ノ支拂シ交渉セシニ中島社長ハ金策ヲ査査中ナ
リト稱シ要領ヲ得サルヲ以テ中島社長ニ会見ヲ迫
リタル爲メ加藤社員ハ中島社長ノ隠家ヲ訪ヒ事柄
ヲ懇々會見ノ必要ヲ説キタル結果本月一日五時所
南正子寄席大松亭ニ於テ會見シ約シ今日午後二時
五十分ヨリ今六時迄會社側ハ中島精一外三名後業

員側ハ後藤惣次郎外九名及東京鐵工組合執行委員井
堀繁雄ト共ニ會見シ會社側ハ依然會社ノ窮状ヲ説明
シ職工側ハ経営困難ノ理由ヲ以テ工場閉鎖シ爲ス知
キハ職工ノ立場ヲ理解セサルモノナリト述ハ種々懇
談ノ結果是ノ實書ヲ作成シ紛議解決セルニ尚會社ハ
資本金五万円ナルニ約十二万円ノ負債アリ九月三十
日ノ貸金支拂額約千二百円取引先々ノ支拂總額二万
餘円アリ中島社長ハ請ヒ急業ニ狂奔セルニ金策ニ窮
シ居ル状況ナルヲ以テ経営ノ繼續困難ナリト思料セ
ラル、ヲ以テ行動注意中

記

一 會社會社王子鐵工所ハ経営困難ナルモノト認ム